

# 川崎市のダイオキシン類の環境濃度はどのくらいなのでしょう

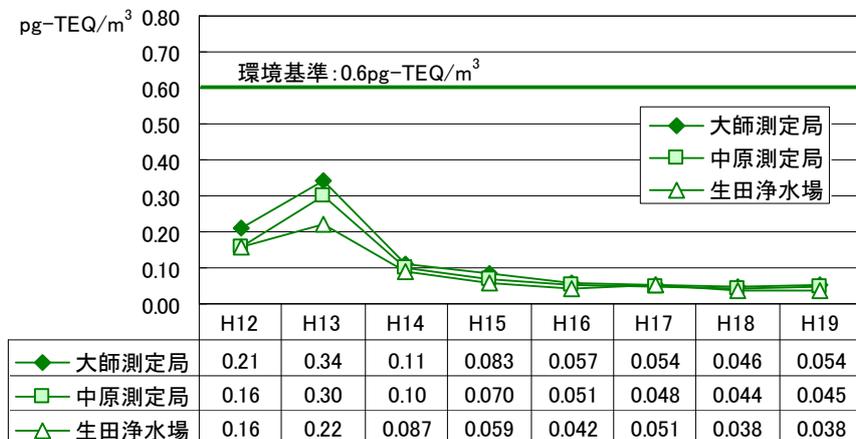
川崎市では、市内のダイオキシン類の環境調査を定期的を実施しており、すべての地点で環境基準を達成しています。

## ○大気

### ・一般環境

大師測定局、中原測定局、生田浄水場の3地点で調査を行っています。

これまで、すべての地点で大気環境基準の0.6 pg-TEQ/m<sup>3</sup>を達成しています。



### ・処理センター周辺

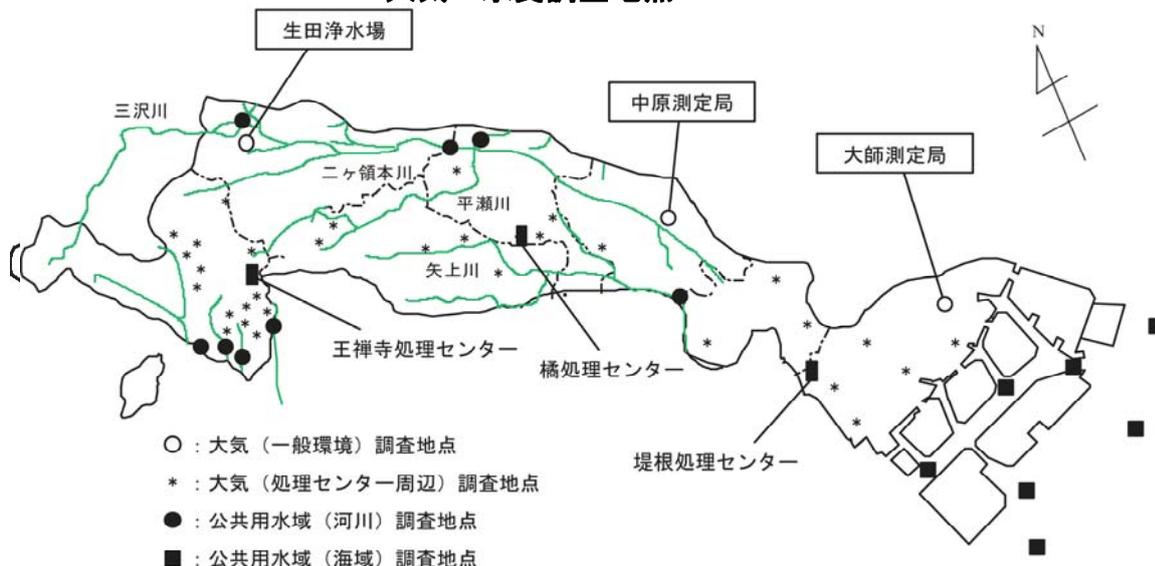
堤根処理センター、橘処理センター及び王禅寺処理センターそれぞれの周辺で調査を行っています。平成13年度は2地点、平成14年度は1地点で大気環境基準を達成しませんでした。平成15年度以降は、すべての地点で大気環境基準の0.6 pg-TEQ/m<sup>3</sup>を達成しています。

単位：pg-TEQ/m<sup>3</sup>

		12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
堤根 周辺	調査地点数	8	8	8	8	8	8	4	4
	調査結果	0.19 (0.14~0.36)	0.29 (0.22~0.32)	0.082 (0.067~0.094)	0.055 (0.046~0.075)	0.049 (0.034~0.064)	0.036 (0.031~0.043)	0.045 (0.039~0.058)	0.050 (0.045~0.057)
橘 周辺	調査地点数	8	8	8	8	8	8	4	4
	調査結果	0.11 (0.050~0.16)	0.39 (0.32~0.47)	0.071 (0.061~0.087)	0.054 (0.049~0.060)	0.043 (0.040~0.046)	0.043 (0.032~0.049)	0.039 (0.036~0.041)	0.042 (0.038~0.045)
王禅寺 周辺	調査地点数	12	12	16	16	16	16	12	8
	調査結果	0.22 (0.15~0.48)	0.49 (0.23~1.1)	0.20 (0.067~0.84)	0.080 (0.049~0.27)	0.042 (0.033~0.051)	0.051 (0.041~0.065)	0.082 (0.032~0.33)	0.034 (0.028~0.041)

※調査結果の上段は平均値、下段は濃度範囲を示しています。以下同じ。

## 大気・水質調査地点



○公共用水域

・水質

水質については、平成13年度及び平成14年度に、黒須田川（市境）で水質環境基準の1 pg-TEQ/Lを達成しませんでした。その他はすべて水質環境基準を達成しています。

単位：pg-TEQ/L

		12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
河川	調査地点数	3	7	4	8	8	10	10	10
	調査結果 ※(黒須田川除く)	0.48 (0.27~0.71)	0.25 (0.15~0.54)	0.31 (0.14~0.44)	0.12 (0.058~0.30)	0.14 (0.082~0.39)	0.12 (0.063~0.26)	0.17 (0.054~0.45)	0.16 (0.043~0.72)
	黒須田川(市境)	-	75	5.9	0.50	0.39			
海域	調査地点数	7	7	7	7	5	5	5	5
	調査結果	0.18 (0.14~0.29)	0.12 (0.098~0.15)	0.084 (0.057~0.12)	0.086 (0.053~0.12)	0.17 (0.075~0.36)	0.14 (0.076~0.30)	0.084 (0.063~0.11)	0.13 (0.058~0.30)

※平成17年度以降は、黒須田川も含めた全地点の平均値です。

・底質

底質については、これまですべての地点で底質環境基準の150 pg-TEQ/gを達成しています。

単位：pg-TEQ/g

		12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
河川	調査地点数	2	2	2	5	3	2	-	-
	調査結果	1.4 (1.3~1.4)	2.0 (1.1~2.9)	1.5 (1.5~1.5)	2.4 (0.59~5.4)	1.9 (0.49~3.0)	1.6 (1.2~1.9)	-	-
海域	調査地点数	7	7	7	7	5	5	5	5
	調査結果	26 (12~65)	22 (3.6~33)	29 (15~65)	31 (8.4~70)	28 (17~41)	30 (24~49)	28 (17~44)	29 (18~42)

○地下水質

地下水質については、これまですべての地点で水質環境基準の1pg-TEQ/Lを達成しています。

単位：pg-TEQ/L

		12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
調査地点数		3	3	3	3	3	3	13	14
調査結果		0.35 (0.26~0.45)	0.14 (0.12~0.18)	0.13 (0.11~0.18)	0.099 (0.039~0.21)	0.065 (0.065~0.065)	0.057 (0.029~0.11)	0.044 (0.017~0.17)	0.023 (0.018~0.027)

○土壌

土壌については、これまですべての地点で土壌環境基準の1,000pg-TEQ/gを達成しています。

単位：pg-TEQ/g

		12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
調査地点数		3	9	12	12	12	17	30	22
調査結果		11 (1.9~29)	13 (0.47~49)	6.1 (0.072~24)	20 (0.0051~120)	3.2 (0.065~20)	6.2 (0.68~33)	3.1 (0.0041~20)	3.4 (0.18~19)

環境基準とは？

ダイオキシン類の環境基準とは、ダイオキシン類対策特別措置法に基づき、人の健康を保護する上で維持されることが望ましい基準として定められたもので、値は次のとおりです。

大気：0.6pg-TEQ/m<sup>3</sup>以下

水質：1pg-TEQ/L以下

底質：150pg-TEQ/g以下

土壌：1000pg-TEQ/g以下